# Neumann、ゼンハイザーのワイヤレスシステムに対応するカプセルヘッド「KK 104 A」「KK 105 A」を発表

## 伝説的な Neumann のコンデンサーサウンドと次世代のワイヤレス性能が融合

2026 年 11 月 17 日
ゼンハイザージャパン株式会社




ゼンハイザージャパン株式会社（代表取締役：宮脇 精一、以下「当社」）は、Neumann のワイヤレスシステム向けプレミアムコンデンサーカプセルヘッド「KK 104 A」と「KK 105 A」を発売します。受注開始は 2026 年 11 月 18 日（水）で、価格はいずれもオープンです。

両製品は、Neumann の伝説的なサウンドクオリティを、今日の最先端ワイヤレスプラットフォームにもたらします。新しい A シリーズの両カプセルヘッドは、高い評価を得ている「KK 204」と「KK 205」の後継モデルとして、実績あるコンデンサー技術と刷新されたデザイン、ハンドリングノイズの低減を組み合わせ、最新のゼンハイザーのワイヤレスエコシステムとのシームレスな互換性を実現しています。

「KK 104 A」と「KK 105 A」は、ゼンハイザーの「Spectera」「EW-D」「EW-DX」「Digital 6000」「Digital 9000」のハンドヘルドトランスミッター向けに設計されています。世界トップクラスのスタジオや世界各地の名高いステージで Neumann のマイクロフォンが選ばれてきた理由である、卓越した明瞭さや細部まで捉える表現力、そして自然なボーカル再現を、アーティストやエンジニアに提供します。

**スタジオクオリティのサウンドとワイヤレスの自由度を**

「KK 104 A」と「KK 105 A」は、高い評価を得ている Neumann のステージマイクロフォン「KMS」シリーズと同じカプセル技術を採用し、同シリーズが誇る精密なサウンドを、ワイヤレス環境にもたらします。従来のダイナミックステージマイクロフォンとは異なり、両モデルにはトゥルーコンデンサー技術が採用されており、卓越した透明感、優れたトランジェント特性、そしてパフォーマンスのあらゆるニュアンスを捉える緻密なボーカル表現を捉えます。その結果、ダイレクトで開放感があり、極めて自然なサウンドを実現し、パフォーマンスの細かなニュアンスを余すことなく保ちながら、ミックスの中でもボーカルを際立たせることができます。
同時に、周波数に左右されない安定した指向特性により、優れたハウリング耐性を実現し、最高クラスのダイナミックカプセルに匹敵する性能を発揮します。両カプセルヘッドは、優れたポップノイズ抑制性能、優れたハンドリングノイズ耐性、卓越した高音圧レベルへの対応力、そして優れたハウリングマージンを備えています。滑らかでバランスの取れた周波数特性により、エンジニアは明瞭さと自然な聞き取りやすさを維持しながら、最小限の音声処理で洗練されたボーカルミックスを実現できます。

現代のステージパフォーマンス向けに設計された「KK 104 A」と「KK 105 A」は、固定式のローカットフィルターを搭載しており、マイクを口元に近づけて使用する際の近接効果を補正し、低域をクリアかつ適切にコントロールします。また、ポップスクリーンを内蔵した硬化スチール製グリルがカプセルを湿気から保護するとともに、過酷なライブ環境における破裂音や歯擦音の低減にも貢献します。




「KK 104 A」と「KK 105 A」のカプセルヘッドは、ニッケルマットとブラックの 2 色を展開

**ステージパフォーマンスに合わせた設計**

同じプレミアムコンデンサー技術を採用しながら、「KK 104 A」と「KK 105 A」は、それぞれ異なる指向特性を備え、あらゆるタイプのパフォーマーのニーズに対応します。「KK 104 A」は、優れたハウリング耐性と動きの自由度を両立するカーディオイド指向特性を採用しています。やや広めの収音特性により、マイク位置のずれや頭の動きに対しても寛容で、自然で広がりのあるサウンドを実現し、表現力豊かなボーカリストのパフォーマンスを引き立てます。「KK 105 A」は、最大限のアイソレーションとコントロールを実現するスーパーカーディオイド指向特性を採用しています。狙った音源によりフォーカスし、周囲からの不要な音の回り込みを効果的に抑え、周囲の楽器との分離性能を高めることで、親密さと高い明瞭度を兼ね備えたボーカルサウンドを実現します。多くの音が飛び交うステージや、モニタリングが難しい環境でも優れた性能を発揮します。

**世界最大級のプロダクションにも対応**

Neumann のワイヤレスカプセルヘッドは、世界各地の大規模なコンサートツアー、歴史的な放送プロダクション、国際的にテレビ放送されるイベントにおいて、エンジニアやアーティストから信頼を獲得してきました。新しい「KK 104 A」と「KK 105 A」は、その伝統を受け継ぎながら、「Spectera」を含むゼンハイザーの最新ワイヤレスプラットフォームとの完全な互換性を実現しています。

「Neumann の A シリーズカプセルと、ゼンハイザーの画期的な『Spectera』システムの組み合わせは、品質を重視するお客様にとって理想的な組み合わせで、最高のワイヤレスシステムにふさわしい、プレミアムな選択肢です。」とステファン・マウアーは述べています。

インイヤーモニタリングシステムと組み合わせて使用する場合でも、従来のステージモニタースピーカーを使用する場合でも、両カプセルヘッドは卓越したボーカルの存在感、優れたハウリングマージン、そしてプロフェッショナルが求める安定した性能を提供します。

**＜「KK 104 A」「KK 105 A」製品特長＞**

- ゼンハイザーの「Spectera」「EW-D」「EW-DX」「Digital 6000/9000」とつなげることで、透明感あふれる Neumann のコンデンサーサウンドを実現
- カーディオイド（単一指向性）の「KK 104 A」とスーパーカーディオイド（超単一指向性）の「KK 105 A」の 2 モデルをラインナップ
- 高いハウリング耐性と高いハンドリングノイズ耐性を実現
- 後方からの音を効果的に抑制
- ショックマウントとポップノイズ抑制機能を内蔵
- 極めて高い最大音圧レベル（SPL）への対応力容易なクリーニングとメンテナンス
- ニッケルとブラックの 2 色をラインナップ



「KK 105 A」とゼンハイザー「Spectera SKM」
最先端のワイヤレスシステムでプレミアムサウンドを実現

**Neumann について**

「Neumann.Berlin」の名で知られる Georg Neumann GmbH は、スタジオグレードのオーディオ機器に特化した世界的なトップメーカーであり、U 47、 M 49、U 67、U 87 をはじめとするレコーディング用マイクロフォンの伝説的名機の生みの親としても知られています。1928 年の創業以来、Neumann.Berlin は数々の技術的イノベーションを起こし、いくつもの国際的な賞を授与されてきました。専門は電気音響変換機の開発ですが、2010 年よりテレビやラジオ放送、レコーディング、オーディオ制作といった市場向けのスタジオモニター製品開発も手掛けています。Neumann 初のスタジオヘッドホンは 2019 年初頭にリリースされ、2022 年以降はライブオーディオ用の、リファレンスクラスのソリューションに力を入れています。Georg Neumann GmbH は 1991 年より Sennheiser グループの傘下に入り、製品は現在、Sennheiser が世界中で展開する拠点ネットワークのほか、長期的な関係を構築してきた販売代理店を通じて各国で販売されています。
https://www.neumann.com/ja-jp

**<本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先>**
ゼンハイザージャパン PR 事務局 （ブレインズ・カンパニー内）
中村・中島・田村・稲垣
TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp